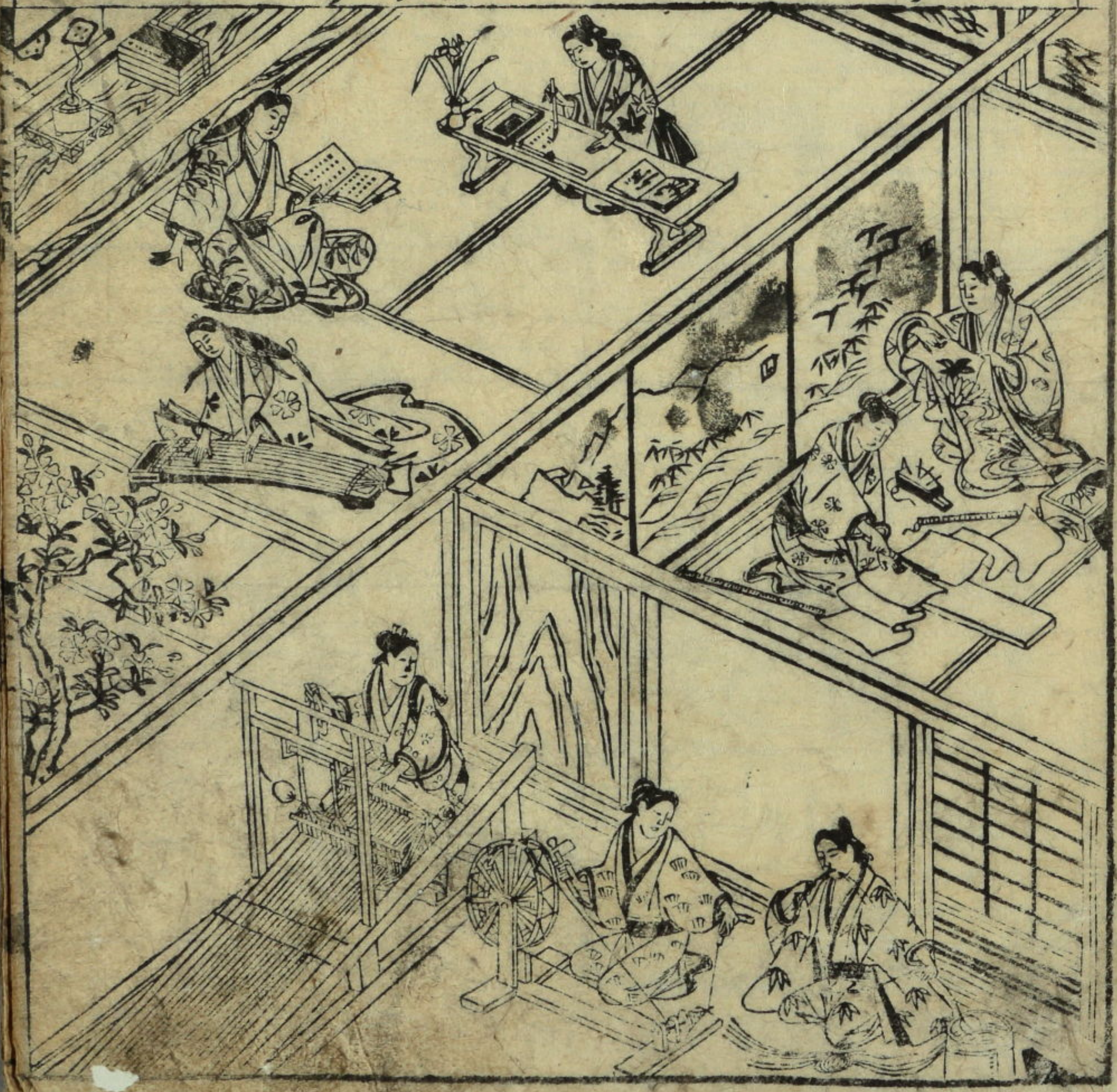




- 一 朝のありふりし御書文の事
- 二 年忌よ人と書と御文の事
- 三 田舎の御人へはくろひ文の事
- 四 堂宿の御宿よ書と御文の事
- 五 ありより文とえと書よ書事の事
- 六 湯治の御見舞とえと書事の事
- 七 能あよ人とよびよ書文の事
- 八 縁組ありとえはくろひ文の事
- 九 短冊書よ書文の事
- 十 小神の御振舞よ書文の事
- 十一 いんこ帯此祝儀書よ書文の事
- 十二 振舞よあひてれよ書文の事

○女たりあましと書はあまの  
 ありくし  
 新學よしんく  
 百人一首の御物御書  
 万葉の御書と書  
 ぬいしらの御書  
 うしはひの御書  
 うしはひの御書  
 香と書  
 茶乃湯と書  
 御書と書  
 御書と書  
 女のまつけと書  
 はかみと書  
 掛けと書  
 ○女たりあましと書はあまの  
 ま



あまの御書



○秋田海軍女

秋田海軍女は、父の死後、母一人の  
にせられた。父母は、父は、  
郷の國無面とのふ下、  
は、女、女、女、女、女、女、  
父母の、父母の、父母の、  
と、み、み、み、み、み、み、  
ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、  
あ、あ、あ、あ、あ、あ、  
周、周、周、周、周、周、  
た、た、た、た、た、た、  
よ、よ、よ、よ、よ、よ、  
ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、  
ん、ん、ん、ん、ん、ん、  
た、た、た、た、た、た、  
よ、よ、よ、よ、よ、よ、  
た、た、た、た、た、た、  
か、か、か、か、か、か、  
月、月、月、月、月、月、  
な、な、な、な、な、な、

秋田海軍女は、父の死後、母一人の  
にせられた。父母は、父は、  
郷の國無面とのふ下、  
は、女、女、女、女、女、女、  
父母の、父母の、父母の、  
と、み、み、み、み、み、み、  
ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、  
あ、あ、あ、あ、あ、あ、  
周、周、周、周、周、周、  
た、た、た、た、た、た、  
よ、よ、よ、よ、よ、よ、  
ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、  
ん、ん、ん、ん、ん、ん、  
た、た、た、た、た、た、  
よ、よ、よ、よ、よ、よ、  
た、た、た、た、た、た、  
か、か、か、か、か、か、  
月、月、月、月、月、月、  
な、な、な、な、な、な、

作  
母

矢

大和詩  
はる

初音白妙の

寄方者

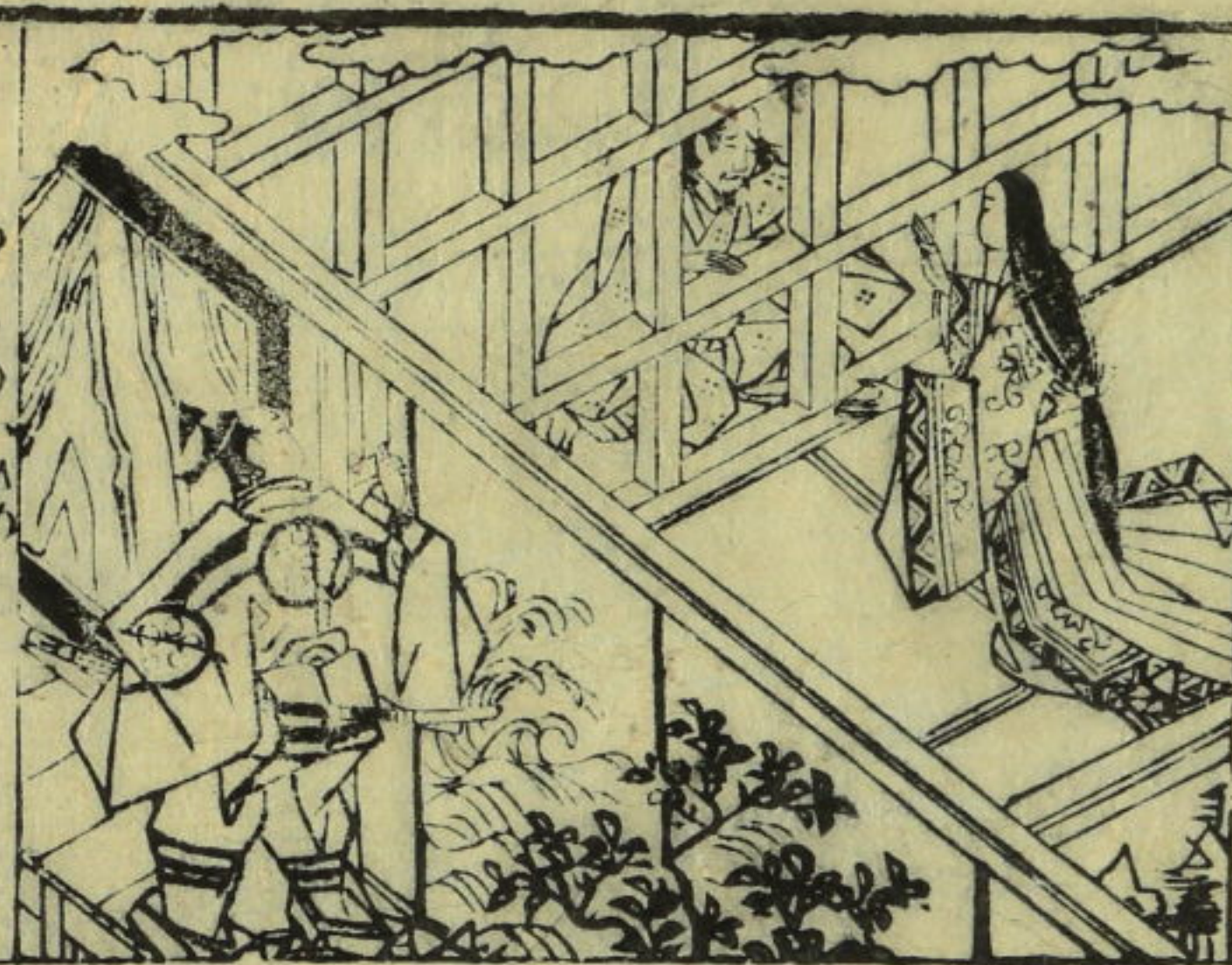
音乃

小川





かり。葉花とさうりつらとる。  
今うのつらして。御前の良さを  
とてこの子孫かり



○おまね娘  
おまね娘は父の孫の七の娘  
氏も孫の家の内にもまね  
のたぐりつらねがまねとええ  
まかまかまのまねとさうつらま  
まねのつらねのつらねまね

おまねのつらね娘とさうつら  
つらね娘は父の孫の七の娘  
氏も孫の家の内にもまね  
のたぐりつらねがまねとええ  
まかまかまのまねとさうつらま  
まねのつらねのつらねまね  
おまねのつらね娘とさうつら  
つらね娘は父の孫の七の娘  
氏も孫の家の内にもまね  
のたぐりつらねがまねとええ  
まかまかまのまねとさうつらま  
まねのつらねのつらねまね

五

日教月く  
年

あまびりし

あまびりし

あまびりし

沙隱居候

綱糸

乃  
立





はく多のてあしてつ時雲の雲  
水がとびよつりさしてらぶらうの  
らうのうさとねとて三  
えまのらうのたとあひ  
ちとと知まのせおれはま  
さきまのびとあへり  
くまをくちとふりふらふさ  
うれたてとくの備え  
らるるるるるるるるるる  
かきかきかきかきかき  
まのり下野さよはだやらる  
の山のぬれ枯らるるるる  
ららしてらららびあふさ  
うさうさうさうさうさ  
戒のまよとつれとてさ  
やうやうやうやうやう  
とまのひとさうらうらうら  
のさうらうらうらうら  
とけまのせとさかひ  
一いふてんをまうらうら

女用文章目録

何のそも  
先づは  
ありは  
こも  
ま  
か



○月房の内侍  
月房の内侍の中おはるるのめ  
おはるる女房の内裏よけ  
なり。そのあの内侍もよあ  
う。月房の園目とらりて  
の境とまらり。びねひと  
あさうひ。うらうらびのま  
勝の内侍とらる。びねの  
さうらとらる。佛よけら  
せよ。びね三千のまらるるの

七

さうら  
は  
ま  
か  
こ  
あ  
ひ  
あ  
は  
は

たに仙やのたはるをふかふか  
あしひくを足るふもりの  
ゆくしのあふのくらよむむあ  
ぐららうくよもあまうけし  
里よわて懸る師とりり  
どれどもちやうあへく大園  
ふかあやのれあまひん  
あしひくすたのありりり  
女津の田こころのあゆみの  
めせうそことたひくこ  
のうこさ藤あせうるな月  
あうさりゆけた。まうさう  
さるんをうたをたねの園  
流の流るるをさるやま  
あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり

あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり

みさきよりあわしたる  
いひしてだんどうりる  
さうろくは休めとぞの  
とておいてねくの結は  
一々た糸なりあうりら  
らせめてさうりら  
よと糸あうりら  
とたのたにたに  
と二つをんき  
七敷くしの時さ  
てあつこのま  
とれゆふの  
うまうく  
ろたよは  
此代ま  
一んら  
とこの  
まて

あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり  
あしひくすたのありりり















さらしつゝのせんのひとと二つ  
程せんくある糸程とある。し  
ち中へあつたせんとせつあつた  
して入らせあつたせんとあつた  
あつたせつあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた

さつと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた  
つと入るつてあつたせつあつた

十四

け程  
糸  
く  
て

池  
水  
の  
糸

いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく  
 いろはのくひのちうりめめぞく

女用文章目録

風来ん

山王乃

沙天石

沙天石

扶掛 巴盤 負盤 鏡立 寄懸 掃帚 粉袋 櫛 櫛  
 使箱 葛籠 貝桶 必窓 荷桶 重箱 鏡 盥盆 洗  
 子提子 鉢 鉢 椀 椀 盃 盃 盃 盃 盃 盃 盃 盃  
 菓子盆 食籠 弁當 提子 納法 縁巻 離張子 外  
 座枕 毛氈 筵幕 糸物 織車 紉機 裾襪 下  
 帯 眼用 拍帯 眼寒 帽子 被褥 袋 袴 足袋 衣  
 蒲團 蚊帳 浴衣 袴 明衣 湯巾 代裏 肩掛 巾  
 校結 摺方 刺刀 爪伐 髪 紅粉 恒粉 白粉 粉  
 子渡金 信子 澆 鉄漿 扇 團 笠 帯 尻切  
 綿袂 針休 糸巻 物指 爪板 裁力 火熨 袴 履

績襦 篋 績桶 糸縹 紡車 疎羽 腸線 縹  
 花 薰 沈 熾 香 炉 香 奩 香 包 手 柄 白 袋 絹 羽  
 二重 日 時 絹 袖 布 深 帷 子 懐 生 平 縹 金 縹  
 綸 子 紗 綾 純 子 今 織 縹 子 縹 環 縹 紗 香 縹 緞 奥  
 鴻 八 丈 鴻 郡 内 鴻 所 紗 唐 奥 鴻 精 好 練 鴻 金 糸  
 紅 紅 梅 綿 楊 子 柘 文 袿 襪 言 文 号 草 縹 鴻  
 縹 流 文 光 縹 子 唐 本 紗 小 金 縹 袖 鴻 花 縹 縹 布  
 衣 八 條 縹 糸 所 紗 羅 宵 板 細 英 細 布 衣 長  
 深 縹 根 子 海 松 菜 号 赤 菜 縹 竹 縹 唐 縹 衣 山  
 縹 初 衣 縹 帽 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹

あうねやうに括敷 十ヶ条

一 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 二 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 三 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 四 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 五 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 六 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 七 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 八 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 九 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹  
 十 世 女 子 衣 物 中 衣 縹 子 著 所 絹 縹 縹 縹 斗 目 守 縹 縹 縹 縹

ふりそつたはしむる下はまりてくねど一字も  
くくつたとるべし一紙の何れも一紙をうけたり  
よりあげてさへ

一文字の法とやうくくんとてまらして法は  
名札のつりそへは熱に推し保ちての事と  
一文字やうくんとてあまりに多細ある  
みちもろくまきとて谷やれ町り河を  
くくつたはしむる下はまりてくねど一字も

一法はのりたるすけしひいてつりも  
まき保ちたる事一紙をうけたり  
くくつたはしむる下はまりてくねど一字も  
一文字の法とやうくくんとてまらして法は  
名札のつりそへは熱に推し保ちての事と  
一文字やうくんとてあまりに多細ある  
みちもろくまきとて谷やれ町り河を  
くくつたはしむる下はまりてくねど一字も

法はのりたるすけしひいてつりも  
まき保ちたる事一紙をうけたり  
くくつたはしむる下はまりてくねど一字も  
一文字の法とやうくくんとてまらして法は  
名札のつりそへは熱に推し保ちての事と  
一文字やうくんとてあまりに多細ある  
みちもろくまきとて谷やれ町り河を  
くくつたはしむる下はまりてくねど一字も

進  
これ

人々もこれにまらして

まらしてまらしてまらしてまらして  
まらしてまらしてまらしてまらして  
まらしてまらしてまらしてまらして  
まらしてまらしてまらしてまらして  
まらしてまらしてまらしてまらして

一 扉をよむ方々に注り人の繪とけくくは多くし一 出きし  
 一 綴冊にふりニ寸づりてなて申す一 注之下一 下れるのう  
 らそそと書とけぬものなり

目錄折紙にやこれ夏

進上		
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく

是のうらやまの意なりし人をもくくは多くし一  
 これよらとれねとくをに一 ねとくをねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一

目錄		
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく

白鳥		
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく
くろく	くろく	くろく

是のうらやまの意なりし人をもくくは多くし一  
 これよらとれねとくをに一 ねとくをねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一

是のうらやまの意なりし人をもくくは多くし一  
 これよらとれねとくをに一 ねとくをねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一  
 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一 ねとくは多くし一

元禄十一年戊辰正月吉旦

浪花書林 柏葉堂書院蔵

